

平成28年度 南丹市市民提案型まちづくり活動交付金(一般枠)交付一覧

No.	代表者	事業の名称	事業の種別	連携団体	事業の目的	実施内容	実施場所	構成員
1	伊藤 肇敏	スポーツ振興プロジェクト～地元開催のスポーツ大会でのケガの予防をサポート～	自由提案型	明治国際医療大学スポーツ振興プロジェクト	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、国内でスポーツ振興の気運が高まるなか、本学では、昨年(2015年)にスポーツ振興プロジェクトを立ち上げ、スポーツの分野で活躍できるスポーツ医療人(トレーナー)の育成に取り組んでいる。これらスポーツ振興の取り組みを地域に還元し南丹地域の活性化に繋がればと考えている。	トライアスロン大会の会場内にスポーツケアブースを設置し、鍼灸師・柔道整復師の国家資格を有する教員や学生ボランティアによる大会出場選手のコンディショニング(ストレッチ・アイシング等)を行うとともに、東洋医学の啓発に取り組みます。また、選手の競技中には、地域住民を対象にストレッチやアロマボディケア等の無料体験を実施します。	南丹市全域	30人

平成28年度 南丹市市民提案型まちづくり活動交付金(学生チャレンジ枠)申請一覧

No.	代表者	事業の名称	事業の種別	事業の目的	実施内容	実施場所	構成員
1	〔学生〕 田中久喜 (看護学部3年) 〔教員〕 佐藤 裕見子	町の保健室事業	課題設定型	「町の保健室」の拠点をつくり、地域住民への定期的な健康相談、健康教育を実施すると同時に、地域にある高齢者サロン、生きがい通所支援事業、子育てサークルやNPO発達障害を考える会「ぶどうの木」、など、地域のさまざまな主体に対して、学生がボランティアとしてかわり、支援することで地域の活性化に寄与するとともに、地域で生活する人々の生の声や身近な姿に接することで、将来医療従事者を目指す者として生活者に視点をあてた看護を学ぶ。	1. 拠点となる施設において（JR明治鍼灸大学前に設置の訪問看護ステーション、薬局、コンビニなどが入居する建物内）、教員・学生が中心となり定期的な「町の保健室事業」を開催し、住民の健康相談、健康教育を実施する。 2. 保健師を目指す学生が、要介護の主な要因であるロコモティックシンドロームの予防や認知症予防について、生きがい通所支援事業通所者に対して、演劇を交えた認知症予防やロコモ予防を行うことで、認知症予防等の重要性をわかりやすく伝え、対象者が継続して介護予防の生活を実践できるよう支援する。 3. 地域の子育てサークル“すくすくやぎっ子”やNPO発達障害を考える「ぶどうの木」など子育ての大変さを抱える母親に対して、子育て支援活動（子供と遊ぶ、クリスマス会、餅つき大会支援、キャンプ、遠足等）を行うことで、母親の育児負担を軽減する。 4. なんとん地域連携研究会参加により地域ネットワークを学ぶ	南丹市全域	19人